



## 米沢市報道資料

---

おにぎりサミット®2026取材にかかる事前  
登録について

令和8年1月21日  
企画調整部魅力推進課

電話 22-5111 (内線) 2630、2631

---

○お世話になっております。下記のとおりお知らせします。

本市が参画する「おにぎりサミット®2026」を取材していただくにあたり、主催者より事前登録の案内が届きましたのでお知らせします。

### 記

イベント名 : おにぎりサミット®2026

日 時 : 2026年1月27日(火)13:00~18:00 (メディア受付:12:30 開始)

会 場 : 東京ミッドタウン八重洲 4 階 カンファレンス

ア ク セ ス JR 線・東京メトロ丸の内線「東京駅」地下直結(八重洲地下街経由)

東京メトロ銀座線「京橋駅」より徒歩約 3 分

東京メトロ東西線・銀座線・都営浅草線「日本橋駅」より徒歩約 6 分

住 所 : 東京都中央区八重洲2丁目2-1東京ミッドタウン八重洲 4 階

取材にお越しいただける場合、1月26日(月)16:00までに下記の Google フォームからお申込みいただきますようお願い申し上げます。

<https://forms.gle/KZKkuhd5fpvcEvZd9>



情報解禁：イベント開始後、即時解禁

# INVITATION

2026年1月吉日

報道関係者各位

一般社団法人おにぎり協会

象印、ラウンドワン、ヤンマーマルシェなど...おにぎりに関連深い企業大集合！  
東大・鈴木名誉教授による「令和の米騒動」を語る基調講演も！  
1月27日(火)開催「おにぎりサミット®2026」  
おにぎりを愛する14自治体・企業・個人が大集結！

一般社団法人おにぎり協会(本社:神奈川県鎌倉市、代表:中村祐介)は、2026年1月27日(火)におにぎりに関わり深い具材等を持つ全国の14自治体および企業とともに「おにぎりサミット®2026」を開催することをお知らせいたします。当日はおにぎりサミットに参画する自治体や食に関連する企業のほか、東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授 / 名誉教授である鈴木宜弘氏による基調講演を行い、「令和の米騒動」から見る日本の食料安保と生産の課題を語ります。



今年2月に第2回を開催したおにぎりサミット®は、2026年に第3回を迎えます。今回は、これまでの参加11自治体に加え、青森県大間町、静岡県富士市、愛知県東海市の3自治体が新たに加わり、計14自治体が参画します。昨年に続き、各自治体によるオリジナルおにぎりや特産品を活用した“ご当地具材”の試食を実施し、来場者の皆さまに地域の魅力や食文化を直接体験いただける内容となります。

また、今年大きな話題となった大阪・関西万博では、会員自治体の山形県米沢市の「米沢牛芋煮おにぎり」や埼玉県深谷市の「深谷ねぎすき焼きおにぎり」、新潟県上市の「塩引き鮭おにぎり」など、ご当地食材を活用したおにぎりが登場したり、会員企業の象印マホービンが「日本のおにぎり」と「世界のおにぎり」をテーマにした販売企画など、おにぎり文化は国内外で幅広い支持を得つつあります。

おにぎりサミット®2026では、こうした動きに加え「お米の価格上昇」「環境問題」「防災と復興」などの社会課題を、地域・企業・一次生産者・教育機関など多様な立場から議論します。おにぎりを通じて文化と地域をつなぎ、新たな価値創出と日本の食の未来を考える場として開催いたします。

当日は、象印、ラウンドワン、ヤンマーマルシェをはじめ、食やおにぎりに関わる多様な企業が一堂に会します。国内のみならず海外でも注目度が高まる「おにぎり」をテーマに、世界市場における可能性や今後の展開について議論を深めてまいります。日本の食文化が海外へと広がる中で、実際に海外展開している企業のリアルな経験談や、各分野を牽引するトップビジネスパーソンによる今後の展望を直接お聞きいただける貴重な機会となっております。

また、一次生産から市場までのフードバリューチェーンをテーマに、ベストセラー『令和の米騒動』もうコメは食えなくなるのか 国難を乗り切るのにほんとうに大切なものとは』著者・東京大学大学院の鈴木宜弘教授をお招きし、日本の食料安保や生産構造の課題について考える基調講演を行います。また、栽培支援から食品流通、空間の提供まで、食にまつわる全てをトータルプロデュースしているヤンマーマルシェ株式会社代表取締役の山岡氏を招き、クロストークも実施します。

スペシャルゲストのなかやまきんに君と餅田コシヒカリはメインセッションに登壇し、14自治体それぞれの自慢のおにぎりを試食やおにぎりのトレンド予測発表を行い、おにぎりが持つパワーやこれからのおにぎりの未来を一緒に考えるトークセッションを開催いたします。

さらに、SNSで「世界一のおにぎり」として話題を集めているおにぎり太郎さんにはおにぎり協会より感謝状を贈呈することが決定いたしました。これまでの功績はもちろん、これからも国内外へおにぎりの魅力を届けてほしいという思いを込めて、感謝状をお贈りいたします。

つきましては、本イベントをご取材くださいますよう、宜しく願い申し上げます。

ご取材にお越しいただける場合、お手数ではございますが、**1月26日(月)16:00まで**にGoogleフォームからお申込みいただけますようお願い申し上げます。

<https://forms.gle/KZKkuhd5fpvcEvZd9>



■イベント概要 ※予告なく変更となる可能性がございます  
イベント名 : おにぎりサミット®2026

日時 : 2026年1月27日(火)13:00~18:00 (メディア受付:12:30開始 プリーフィング:12:50開始)  
会場 : 東京ミッドタウン八重洲4階 カンファレンス  
アクセス : JR線・東京メトロ丸の内線「東京駅」地下直結(八重洲地下街経由)  
東京メトロ銀座線「京橋駅」より徒歩約3分  
東京メトロ東西線・銀座線・都営浅草線「日本橋駅」より徒歩約6分  
住所 : 東京都中央区八重洲2丁目2-1東京ミッドタウン八重洲 4階

## ■本イベントのご取材に関する注意事項

※途中入退場は可能です。  
※メディアプリーフィングは12:50の1回限りを予定しております。以降は転換時間が短くなっておりますのでご注意くださいませ。  
※ご取材場所は、12:30の時点でご来場いただいた方の中で、スチールは先着順、ムービーは在京キー局・ENG優先で抽選とさせていただきます。  
※セッションを跨いでご参加される方は、途中退場などを行わず、同じ場所の使用を可能とさせていただきます。途中からご参加の方は、空いている場所での取材にご協力をお願いいたします。  
※お申し込み時点で満席の場合にはご取材をお断りさせていただく場合がございます。ご了承ください。  
※当日は敷地内に駐車場のご用意がございますが、駐車料金は各社負担となります。ご了承ください。  
※急遽中止となる可能性がございますので、あらかじめご了承くださいませ。  
※本イベントで撮影された映像及び写真は本作品の報道を目的とした使用に限らせていただきます。  
※本イベント映像をWEB上で使用する場合は必ず編集をしてご紹介ください。  
※当日は一般の来場者も来場します。

## ■おにぎりサミット 企画概要

※登壇者、企画内容は予告なく変更となる可能性があります

### ◎13:00~13:05【開会宣言】

・中村 祐介(一般社団法人おにぎり協会 代表理事)

### ◎13:05~13:25【おにぎりトーク】

今年のスペシャルゲストであるなかやまきんに君、餅田コシヒカリを迎えて、最新おにぎりコンビニ調査ランキングやおにぎりトレンドの発表など、おにぎりについて徹底的にトークいたします。

・なかやまきんに君(タレント)

・餅田 コシヒカリ(タレント)

・中村 祐介(一般社団法人おにぎり協会 代表理事)

### ◎13:25~14:25【14自治体のオリジナルおにぎり発表&試食】【調印式&記念写真】

おにぎりサミット®に参加している14自治体の自慢の具材をたっぷり使用したコラボおにぎりを発表します。また、おにぎりを通じて日本の食文化の魅力を再発見し、それを次世代や世界へつなぐことを誓い、調印式を行います。

・なかやまきんに君(タレント)

・餅田 コシヒカリ(タレント)

・湊屋 稔(北海道羅臼町 町長)

・増山 渉(青森県大間町 町長代理)

・佐々木 拓(岩手県陸前高田市 市長)

・近藤 洋介(山形県米沢市 市長)

・須田 博行(福島県伊達市 市長)

・小島 進(埼玉県深谷市 市長)

・林 茂男(新潟県南魚沼市 市長)

・高橋 邦芳(新潟県村上市 市長)

・村椿 晃(富山県魚津市 市長)

・金指 祐樹(静岡県富士市 市長)※1月19日よりご就任

・花田 勝重(愛知県東海市 市長)

・山本 秀平(和歌山県みなべ町 町長)

・永井 秀樹(愛媛県今治市 課長代理(今治市 産業部 産業政策局 i.i.imabari!推進課))

・松永 久(福岡県柳川市 市長)

・ふっかちゃん(埼玉県深谷市イメージキャラクター)

・むすびん(静岡県富士市食育キャラクター)

・神谷よしえ(おにぎり神谷・にぎりぴと、フードプロデューサー、新潟県村上市おにぎりレシピ監修者)

・本間日陽(女優・新潟県村上市スペシャルアンバサダー)

・中村 祐介(一般社団法人おにぎり協会 代表理事)

### ◎14:45~15:05【おにサミTOPICS①】

バレンタインらしい「映える」キュートなおにぎりが登場！昨年、一昨年に引き続き、今年も女優・新潟県村上市スペシャルアンバサダーの本間日陽が紹

紹介します！また、餅田コシヒカリが「南魚沼市交流大使」に任命されることを受け、委嘱状の贈呈をおこなったり、おにぎり協会と各企業や自治体とのコラボキャンペーンを発表したりと、コンテンツが盛りだくさんなコーナーとなっております。

▼「南魚沼市交流大使」委嘱状進呈

- ・林 茂男(新潟県南魚沼市 市長)
- ・餅田 コシヒカリ(タレント)

▼「バレンタインおにぎり」発表

- ・川原田 美雪(「ONI&Co」代表取締役)、長瀬 功一(「ONI&Co」事業責任者)
- ・本間日陽(女優・新潟県村上市スペシャルアンバサダー)
- ・菅野 亮介(株式会社HAMONS 代表取締役／生ハム侍)

▼「コラボメニュー」などおにぎり協会からのお知らせ

- ・中村 祐介(一般社団法人おにぎり協会 代表理事)

◎15:05～15:15【感謝状授与式】

一般社団法人おにぎり協会は、おにぎり文化の発展に寄与した方々を毎年表彰しています。第3回目となる今年は、SNSで“世界一のおにぎり”として話題を集めているおにぎり太郎さんに感謝状を贈呈いたします。おにぎりブームの火付け役とも言われるこれまでの功績はもちろん、これからも国内外へおにぎりの魅力を届けてほしいという思いを込めております。

- ・おにぎり太郎(木曾 太郎) (「世界一のおにぎり」膳 八女や 店主)
- ・中村 祐介(一般社団法人おにぎり協会 代表理事)

◎15:15～16:05【日本のおにぎりを世界へ 一次生産から世界市場まで、フードバリューチェーンを考える】

一次生産から市場までのフードバリューチェーンをテーマに、ベストセラー『令和の米騒動』『もうコメは食えなくなるのか 国難を乗り切るのにほんとうに大切なものとは』著者・東京大学大学院の鈴木宣弘教授をお招きし、日本の食料安保や生産構造の課題について考える基調講演およびクロストークを実施します。

基調講演タイトル:「令和の米騒動」から読み解く、日本の食の基盤は何が揺らいでいるのか

基調講演:鈴木 宣弘氏(東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授 / 名誉教授)

クロストーク:山岡 照幸(ヤンマーマルシェ株式会社 代表取締役)、中村祐介(おにぎり協会)

◎16:15～16:55【海外で伸びるONIGIRIを“失速”させないために 一おにぎりは“グローバルフード”になりうるか】

近年、日本のおにぎりや日本米は、海外でも少しずつ存在感を高めています。しかし、それは単なる日本食ブームの延長ではなく、現地の食文化や生活習慣の中でどのように理解され、受け入れられているのかという点にこそ、本質的な変化があります。本セッションでは、日本米やおにぎりが海外でどのように評価され、どのような形で事業として展開されているのかを、実際に現地を取り組む実践者の視点からひもときます。すでに海外で事業を行っている人、これから展開を目指す人の経験を通じて、成功事例だけでなく課題や試行錯誤にも目を向けながら、日本のおにぎりが世界の中でどのような可能性を持ちうるのかを考えます。

- ・三浦 洋介(「おにぎり浅草宿六」店主)
- ・小林 洋平(Round One Entertainment Inc. 日本支店 運営企画本部 部長)
- ・坂本滉太(象印マホービン株式会社 商品企画部企画グループ サブマネージャー)
- ・小池 理雄(小池精米店・三代目、五ツ星お米マイスター)
- ・土屋 亮泰(「Tokyo Gohan」ATbrothers UG 代表取締役 (CEO))
- ・中村 祐介(一般社団法人おにぎり協会 代表理事)
- ・勝山 雄太(Onigiri Kororin CEO)※ビデオ出演

◎16:55～17:15【おにサミTOPICS②】

新潟県村上市は、村上市のお祭りがユネスコ無形文化遺産に登録されたことを紹介しつつ、今後予定している食に関するプロジェクトの発表をいたします。また、静岡県富士市は3月1日に予定している富士のほうじ茶ブランドマルシェの紹介を行います。

▼村上市「おにぎりマッププロジェクト」発表

- ・高橋 邦芳(新潟県村上市 市長)、事業担当者(新潟県村上市)
- ・神谷よしえ(おにぎり神谷・にぎりびと、フードプロデューサー、新潟県村上市おにぎりレシピ監修者)

▼富士市「富士のほうじ茶ブランドマルシェ」紹介

- ・金指 祐樹(静岡県富士市 市長)※1月19日よりご就任
- ・佐藤 清可(おむすび さや)

▼欧米に向けた業務用のIHジャー炊飯器取り組みについて

・加古 さおり(パナソニック株式会社 Panasonic Cooking@Lab炊飯部 上級主幹技師)

◎17:15～17:40【災害時の食に必要なのは“メニュー”ではない 日常の延長にある防災と非常時にこそ問われる「食の力」】

災害時、食べることは単なる栄養補給ではなく、心と体を支える重要な行為になります。本セッションでは、おにぎりを切り口に、非常時に実際に役立つ食の工夫と備えについて考えます。アルミホイルやラップといった身近な道具を使った簡単な調理・保存の方法を紹介しながら、特別な設備がなくても対応できる知恵を共有します。また、災害時に多くの現場で活用されてきたアルファ米について、その特徴や使われ方、実際の経験談を交えて紹介します。

・平岡 秀剛(株式会社クレハ マーケティング部 海外・企画開発グループリーダー)

・足立 隼人(東洋アルミエコープロダクツ株式会社 マーケティングユニット コンシューマー用品プロダクトチーム チームリーダー)

・栗田 雅彦(尾西食品株式会社 取締役営業本部長)

・中村 祐介(一般社団法人おにぎり協会 代表理事)

■おにぎりの試食について

ご来場のメディアの皆様には14自治体がそれぞれ自慢の食材を使用したおにぎりから1種類試食を提供させていただきます。

※ご用意の状況によっては、ご希望をお伺いできない場合がございます。あらかじめご了承ください。

北海道羅臼町:知床臍(おぼろ)いくらおにぎり

青森県大間町:大間ネギトロマグロ

岩手県陸前高田市:たかたむすび

山形県米沢市:米沢牛カレーおにぎり

福島県伊達市:伊達鶏とりようぜん漬のおにぎり

埼玉県深谷市:深谷ねぎ塩おにぎり(深谷牛、深谷ブロッコリー入り)

新潟県南魚沼市:かぐら南蛮おにぎり

新潟県村上市:村上茶飯と塩引き鮭のおにぎり

富山県魚津市:カニ鬼ぎり

静岡県富士市:富士煎茶むすび カリッ茶

愛知県東海市:生姜と枝豆のきやらぶきおにぎり

和歌山県みなべ町:梅じゃこおにぎり

愛媛県今治市:今治焼き鳥おにぎり

福岡県柳川市:柳川のりチーおにぎり

■登壇タレントについて



なかやまきんに君	餅田コシヒカリ(駆け抜けて軽トラ)	本間日陽
フリー	松竹芸能所属	HONEST所属
1978年9月17日(47歳)	1994年4月18日(30歳)	1999年11月10日(25歳)

■特別セッション概要

タイトル:日本のおにぎりを世界へ 一次生産から世界市場まで、フードバリューチェーンを考える

基調講演タイトル:「令和の米騒動」から読み解く、日本の食の基盤は何が揺らいでいるのか

基調講演:鈴木 宣弘氏(東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授 / 名誉教授)

クロストーク:山岡照幸氏(ヤンマーマルシェ株式会社 代表取締役)、中村祐介(おにぎり協会)

※基調講演後、クロストークを実施。

▼鈴木 宣弘氏プロフィール



東京大学大学院特任教授・名誉教授

1958年三重県生まれ。東京大学農学部卒業後、農林水産省入省。九州大学大学院教授を経て、2006年から東京大学大学院農学生命科学研究科教授、2024年4月から同特任教授。食料安全保障推進財団理事長を兼務。FTA産官学共同研究会委員、食料・農業・農村政策審議会委員、財務省関税・外国為替等審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員、コーネル大学客員教授などを歴任。日本の食料安全保障問題の第一人者として食料危機への対応を訴え続ける。『食の戦争』『農業消滅』『世界で最初に飢えるのは日本』『マンガでわかる日本の食の』

危機『このままでは飢える! 食料危機の処方箋』『国民は知らない「食料危機」と「財務省」の不適切な関係』『食の属国日本: 命を守る農業再生』『令和の米騒動』『もうコメは食えなくなるのか』等、著書多数。

■参加自治体 ※変更になる可能性があります。

北海道羅臼町(昆布)  
青森県大間町(鮭) ※new  
岩手県陸前高田市(牡蠣)  
山形県米沢市(牛)  
福島県伊達市(鶏)  
埼玉県深谷市(葱)  
新潟県南魚沼市(米)  
新潟県村上市(鮭)  
富山県魚津市(蟹)  
静岡県富士市(茶) ※new  
愛知県東海市(蕎麦) ※new  
和歌山県みなべ町(梅) ☆幹事自治体  
愛媛県今治市(塩)  
福岡県柳川市(海苔)

■協賛企業一覧 ※変更になる可能性があります。

株式会社SCI  
尾西食品株式会社  
株式会社クレハ  
株式会社神明  
株式会社JTBふるさと開発事業部  
象印マホービン株式会社  
竹本油脂株式会社 マルホン胡麻油  
東洋アルミエコープロダクツ株式会社  
中田食品株式会社  
日本コカ・コーラ株式会社 綾鷹  
パナソニック株式会社  
キッコーマン食品株式会社

主催: 一般社団法人おにぎり協会

後援: 農林水産省

特別協力: 三井不動産株式会社

■おにぎりサミット®とは

おにぎりサミット®は、一般社団法人おにぎり協会が2024年に創設した、自治体・企業・一次生産者・教育機関など多様なパートナーが一堂に会する食文化・地域連携イベントです。初回は2024年2月2日に開催され、参加自治体の首長らが集い、「おにぎり」という日本の食文化を次世代につなぐための共同宣言を行いました。会場では、各地域の特産品を活用したおにぎりや関連商品の紹介だけでなく、漬物・お茶・水・酒・風呂敷・おしぼりなど、おにぎりを支える多彩な文化資源も共有されます。競争ではなく連携を重視し、地域の魅力を相互に高め合いながら、「おにぎりを通じたまちづくり」に向けた議論を深める場として進化してきました。

【おにぎりサミット®Webサイト】<https://summit.onigiri.or.jp/>

■おにぎりサミット®が目指すこと

一般社団法人おにぎり協会は、日本が世界に誇る料理であるおにぎりの国内外での普及を目的に、2014年に設立されました。おにぎりに対する関心は海外を含めて広がり、各地で新たなおにぎり文化やスタイルが生まれつつあります。2024年からは、「おにぎりを通じて地域をつなぎ、新しい価値を生み出す」取り組みをさらに加速させています。おにぎりは具材や背景となる文化の幅が広く、そこから議論は一次生産、農業や漁業の持続性、フードツーリズム、防災・復興といった幅広いテーマへと発展します。おにぎりサミット®は、こうした多様な課題や可能性を共有し、自治体・企業・一次生産者・生活者が垣根を越えて連携し、新たな価値やイノベーションを生み出すためのプラットフォームです。おにぎりをきっかけに、日本の地域を元気にし、食文化の未来をより良いものへとつなげていくことを目指しています。

一般社団法人おにぎり協会代表理事 中村祐介

■おにぎり協会について

おにぎり協会は、おにぎりを日本が誇る「ファストフード」「スローフード」「ソウルフード」と位置づけ、その文化的背景を含めて国内外に発信することを目的に活動しています。おにぎりを単なる食品ではなく、地域の歴史や一次生産、暮らしの知恵が凝縮された日本固有の食文化として捉え、その魅力と奥深さを多くの方々に伝えることを目指しています。

さらに、その価値を次世代につなぐため、関連する事業やプロジェクトにも積極的に参画し、持続的な発展に向けた取り組みを広げています。おにぎりを通じて地域と地域、人と人をつなぎ、新しい価値や体験を生み出しながら、日本の食文化の理解促進とその未来づくりに努めています。

<https://www.onigiri.or.jp/>

Rice Style Media おにぎりジャパン

<https://www.onigiri-japan.com/>

SNS

<https://twitter.com/OnigiriSociety>

<https://www.instagram.com/onigirisociety/>

<https://www.facebook.com/OnigiriSociety/>

#### 【本イベントに関するお問合せ】

おにぎりサミット®PR事務局(株式会社アイ・エヌ・ジー内)

担当: 井崎・武田・ミンジ TEL: 03-5459-0290 (営業時間10:00-19:00)

MAIL(担当者: 武田): [nanami.takeda@ing-ad.com](mailto:nanami.takeda@ing-ad.com)

TEL(担当者: 武田): 070-1303-5122